

越後丘陵公園で 障害者モニタリングを実施！

長岡身障連かわら版

国営越後丘陵公園事務所から、長岡市身体障害者団体連合会に依頼があり、園内の施設をモニタリングして、改善点をなどを要望しました。

公園事務所からは、車椅子利用者と視覚障害者の方をお願いしたいとのことで、事務局から個別に依頼し、長岡市肢体障害者協会の横山昇司さんと長岡市視覚障害者福祉協会から五十嵐政男さんに参加いただきました。

横山さんから、投稿をいただきましたのでご紹介します。

長岡市肢体障害者協会 横山 昇司

去る、10月29日（金）に国営越後丘陵公園事務所の依頼により、公園内の施設（花壇に行く順路やトイレが有る場所・売店・レストランと隣のキッズハウス）等、障害のある方が施設見学するにあたり改善して欲しい箇所や増備して欲しい物等の要望があったら聞かせてほしいとのことで公園内を視察してきました。

当日、午後1時半に公園入口に集合。丘陵公園管理センターからは職員4人。長岡市身体障害者団体連合会から、依頼された肢体協の私は車椅子で視障協の会長夫婦ともう1組の夫婦5人で公園内を見て回りました。

公園の正面入口から入りましたが、斜面の下りは少しキツイですので介添えが必要と思われます。

また、道の途中で休憩用の腰を下ろす椅子等が欲しいです。

公園内のトイレは全て障害者用になっておりますが、一部のトイレトペーパーの取り付け高さが低いのではと思われるところがありました。

館内のレストランでは、券売機の紙幣の投函口の高さが高く車椅子では届きませんでしたので、改善要望をしました。

キッズ館は二階にあり、傾斜を上って行きますが、車椅子で介添えなしではとても無理です。

同様に帰りに公園入口に戻る時は、あまりにも傾斜が長いので介添え無しには登れませんでした。

約2時間の見学を行い、視覚障害者福祉協会の五十嵐会長から、団体や私用でこの公園見学に来るときには事前に連絡をすれば施設内の説明や案内をしていただけるかどうかなど、他にも色々な質問や意見・要望等を行いました。

【発行人】
長岡市身体障害者団体連合会
会長：藤田芳雄
令和3年秋号



「ザ・チャレンジド」 第1回 栂澤春雄さん(79)

欧米では障害者を「チャレンジド」と呼ぶ。このコーナーは、障害がありながら、スポーツや文化、ボランティア活動、そして社会における様々な場面で活躍する人たちの姿を浮き彫りにし、その生き方を通じて障害者のナマの姿を紹介することで、障害者理解の促進につなげたいと企画しました。



第1回の今回は、去る10月21日に亡くなられた長岡市肢体障害者協会会長で、長岡市身体障害者団体連合会副会長だった「故 栂澤春雄さん」(長岡市新保4、没年齢79歳)の遺徳を偲び、その生きざまをご紹介します。

栂澤さんは、昭和17年5月6日、長岡市成沢の農家の5男として生まれました。

小学校3年生の時に、親戚の家の庭先で遊んでいるうちに、農機具に挟まれ、肩から先の右

腕を失った。

事故直後に医者に連れていくため、母親がリヤカーに栂澤さんに乗せ、落とした右腕をしっかりと抱えたまま、泣きながらリヤカーで蔵王橋を渡ったという。

その後、中学を卒業するとすぐに宮内のクリーニング店に住み込みで働き始めた。もちろん、まだ障害者用改造車両など無かった時代、50CCのバイクの、右手ハンドルのアクセルに、肩から下げた紐を金具で取り付け、片腕だけで雨の日も雪の日も顔を真っ赤にして洗濯物の配達に走り回った。

34歳の時、19年間働いたクリーニング店を辞め、郵便局の守衛として就職。25年以上にわたってその職を最後まで果たした。

「夫はよく言えば負けず嫌いの頑張り屋でしたが、悪く言えば、やり始めたら途中で絶対に後に引かない頑固者」と奥様の和子さんは言う。

あの頑張りとはクリーニング店での厳しい仕事で培われたものだと思うが、「障害者だからと言いついてはしたくないから・・・」と常々言っていた栂澤さんだった。心からご冥福をお祈りしたい。

(文責：藤田)

栂澤春雄さん長い間ありがとうございました

長岡市との意見交換会を開催

10月20日(水) 午後に長岡市との意見交換会を開催しました。

出席者の自己紹介後に長岡市長宛の要望書を藤田会長から福祉保健部長に手渡し、要望の検討をお願いしました。

要望書は、各協会から出された要望を整理し、まとめたものです。

今年度新たに加えた項目は、「新潟県の障害者相談員に係る研修会を実施すること」で、これは長らく新潟県で地域ごとに実施していた研修会が終了し、相談員の研修の機会がなくなったことから、相談者に対して適切に関係機関に

つなぐため、長岡市の相談員を対象に研修会の開催を要望するものです。

要望の内容は多岐にわたりますが、福祉課長から丁寧なコメントをいただき、できる限り実現できるよう検討したいとのことです。しかし、予算が伴う項目はなかなか厳しそうです。

要望に対する回答は、予算に関わらないものを11月末に予定しています。

順次かわら版で報告します。



設立50周年記念事業 障害者川柳 その3

聴覚障害者との心のこもった コミュニケーションのために

本連合会では昨年、設立50周年事業のひとつとして、全国から「障害者川柳」を募集しました。

このコーナーでは寄せられた1,400句の応募作品の中からピックアップして、毎号解説を添えてご紹介します。

障害者の日々の暮らしや思い、言いたいことなどが、5・7・5の短い言葉で、笑いとペースの中から見えてきます。

解説 室井 泉柳

ハンディは 乗り越えるより くぐり抜け マッチ棒 埼玉県 男

【解説】 よく「障害をのりこえ…」とか「ハンディーを克服して…」とか言われますが、これって実はそう簡単なことではないんですよね。障害者だからと言って「のりこえて生きていく」のは結構生きづらいもの。「くぐりぬけて」生きるのが精いっぱいな毎日です。

分からない、それこれその黄色いの ミルクピンク 新潟県 女性 視覚障害

【解説】 視覚障害者には「言葉」による説明が最も有効ですが、目線だけで「あれ」とか「これ」とか言われても当然理解できません。「あっち」「こっち」と言うのではなく、「右」とか「左」とか、具体的に説明してほしいものです。

「優先」に座れば前に高齢者 彗星 福井県 男 聴覚障害

【解説】 混雑する電車で、優先席を見つけて座り、やれやれと思ってあたりを見渡すと、



目の前に杖をついたお年寄りが…。障害者も高齢者も、どちらも対象者。あなたならどうしますか？

⑤ 筆談をお願いします



書く



頼む・願い・お願い・依頼

【書く】

- ・開いた左手の上で何かを書き付ける仕草をします。

【頼む・願う】

- ・少し頭をさげて顔の正面で斜めに構えた右手を少し前に出します。

【事務局連絡先】

※ 投稿及び連絡は下記メールをお願いします。

メール：nagaokasinsyou@yahoo.co.jp
QRコードからもOK!



ホームページ：

<http://shinsyoren.web.fc2.com/>
QRコードからもOK!



【編集後記】

あたりの木々がすっかり赤・黄色と鮮やかに紅葉するにつれ、朝晩と寒い日がやって来ました。やがて、木枯らしの吹く冬将軍が訪れると思うと憂鬱になりますね。

先日、弥彦の紅葉を観に行くつもりが渋滞に巻き込まれ全然車が動いてくれず、途中で諦めました。

ただ、驚いたことにコロナ禍の中、通行人の中には外国人の姿もあり観光客が戻ってきたのかなと複雑な気持ちでした。

衆議院議員総選挙が終わり当選の挨拶で奥様が「皆様にお約束したことを守れるよう、私が監視して果たせるようにします」と心強い発言があり素敵でした。こんな奥様が他の国会議員の方にもそばにいて喝を入れてほしいものですね。

(K・K)

第35回 身体障害者団体連合会

新年合同交流会

新たな1年を迎えるにあたり、是非ご参加ください

日時

令和4年1月23日(日) 13:30~15:30

会場

長岡市社会福祉センター
トモシア
多目的ホール

会費

¥3,000

※ 新型コロナワクチン2回接種済、PCR検査陰性、抗原検査陰性の方入場可

肢体障害者協会の該当者を対象に
福祉バスを運行します！

内容

- ・アトラクション 「夫婦漫才 つまぶら」 出演決定
- ・福引(賞品をプレゼント)



お申し込みは、各所属協会へお願いします。
令和3年12月27日(月)まで

主催

長岡市身体障害者団体連合会
〒940-0071 長岡市表町2-2-21
長岡市社会福祉センタートモシア方